

## JGN2 イベント利用報告書

### 1. イベント名

SFC Open Research Forum 2005(イベント-100)

### 2. イベント概要

開催日時:2005年11月23日 午後1時～午後2時

会場：六本木ヒルズ 40F アカデミーヒルズ

主催：慶應義塾大学 SFC 研究所

協力：JGN2,高知県新情報ハイウェイ、高知県立大方高等学校、(株)インテック、  
NTT 西日本

概要：2005年11月23日に六本木ヒルズで行われた慶應大学 Open Research Forum  
において、六本木の会場と高知県立大方高校(高知会場)を、JGN2/高知県新情報  
ハイウェイを用いて DVTS で接続、また富山県富山市の(株)インテック(富山会  
場)を DVTS で接続し「地域情報化と教育」に関するセッションを行った。

### 3. JGN2 利用の概要

図1に本イベントにおけるネットワークの構成を示す。本イベントにおいて JGN2 は、  
高知県新情報ハイウェイと WIDE プロジェクト間の接続に用いられた。

JGN2、高知県新情報ハイウェイは共に L2 で利用し、WIDE プロジェクトのネットワー  
クを高知県大方町の高知県立大方高校まで延長に利用された。

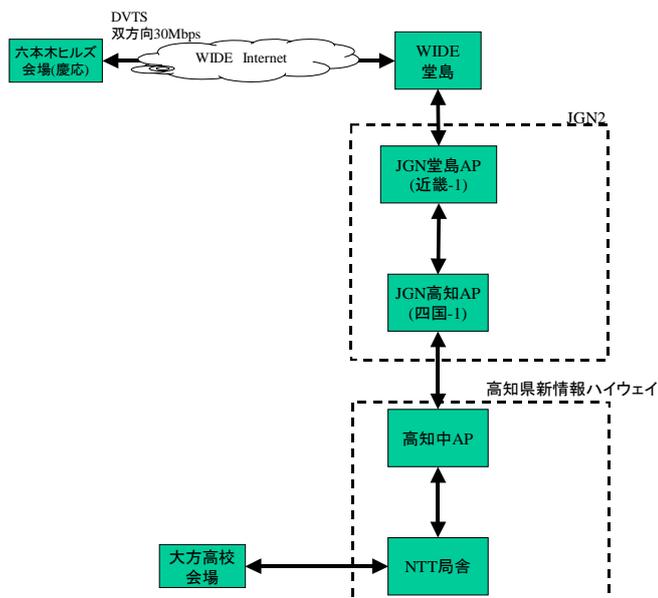


図1 ネットワーク図

#### 4. イベント参加人数

六本木会場 約 200 人（他スタッフ 6 名）

富山会場 2 人（他にスタッフ 3 名）

高知会場 29 人(高校生 14 名、教員 7 名、他 8 名)

#### 5. 実施の評価

本イベントでは、JGN2 の利用により六本木ヒルズと高知県大方町間での DVTS を用いたディスカッションが実現された。DVTS を用いた低遅延/高画質な環境は、出演者間の自然な会話やディスカッションを実現し、観客への技術デモとしても多大な効果があったと考える。

#### 6. 開催模様

利用アプリケーション：

六本木会場と高知/富山の各会場間は双方向の DVTS を用いて接続した。また 3 会場の間をバックアップとして Polycom 社の Viewstation による 512kbps で接続した。六本木においては各会場の映像表示に DVTS を用いたが、高知会場における富山会場、富山会場における高知会場の表示には Polycom を用いた。

また、リハーサル/本番中の各会場のスタッフ連絡は IRC を用いた。

会場配置：



図 2 会場レイアウト

出演者：

六本木 西田みづ恵(慶応大学)、國領二郎(慶応大学)、滝澤光樹(インテック)

大方 高知県立高等学校の高校生 14 人、谷口諭(慶応大学)

富山 柵富雄(富山インターネット市民塾)、臼井義比古(富山鳳雛塾)

会場の様子



図 3 六本木ヒルズ会場



図 4 六本木における大方会場



図 5 中継機材ブース



図 6 六本木における富山会場



図 7 三地点間でのディスカッション



図 8 六本木会場出演者